



町田さんは日本のみならず海外の蚊取り線香も収集しておりその種類は約80に及び

# 蚊取り線香

イライラしては余計に暑い  
仏の心で蚊を旅立たせる

町田流「正しい蚊取り線香の火のつけ方」。マッチを上に向け蚊取り線香の先に火をつける



ブーン。眠りを妨げる蚊の羽音ははなはだ耳障りなものだ。殺虫剤よりもここは蚊取り線香をおすすめしたい。「蚊取り線香の良いところはアナログなところ。蚊を追いやるだけでなく見た目も涼しい。最近ではアロマセラピー効果のあるものも発売されています。すごくいい香りですよ」  
そう語るのは庶民文化研究家の町田忍さん。蚊取り線香にも詳しい。  
「蚊取り線香の殺虫力は弱いもの。煙を吸った蚊は気を失い、そのまま極楽浄土へ旅立って



蚊取り線香立ての金具。海外製だと缶詰をそのままリサイクルしているものも

# 藺草

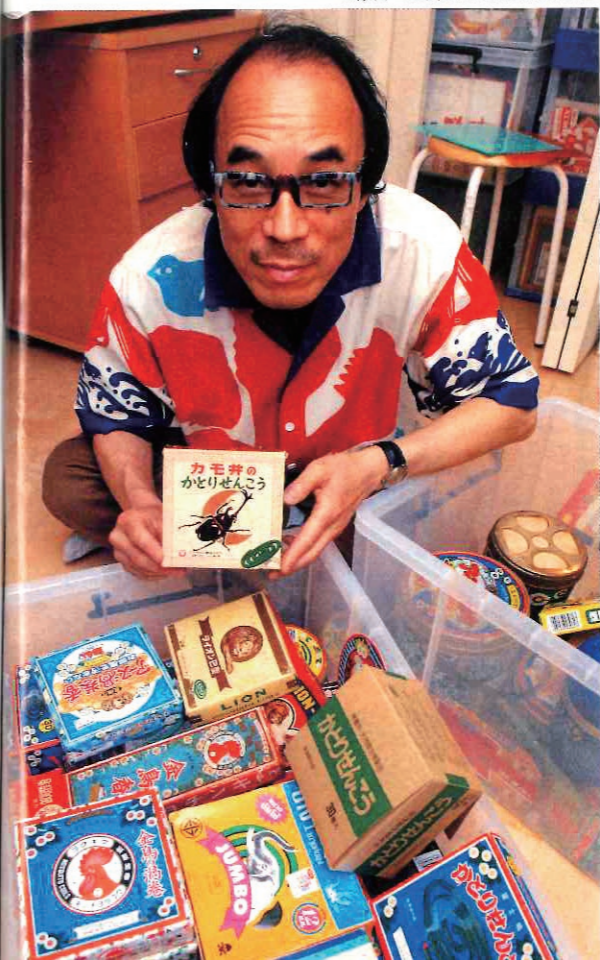
いぐさ

仏蘭西でブーム!?

この国に生まれたのならば  
「畳の上で……寝たい」

藺草は暑さを凌ぐための優秀な機能を備えている。中がスポンジ状になっており、湿度が高い時は湿気を吸い取り、低い時は吐き出すのだ。

高校生の時、カトムシパッケージの蚊取り線香に衝撃を受け、蚊取り線香への研究心にも火がついた

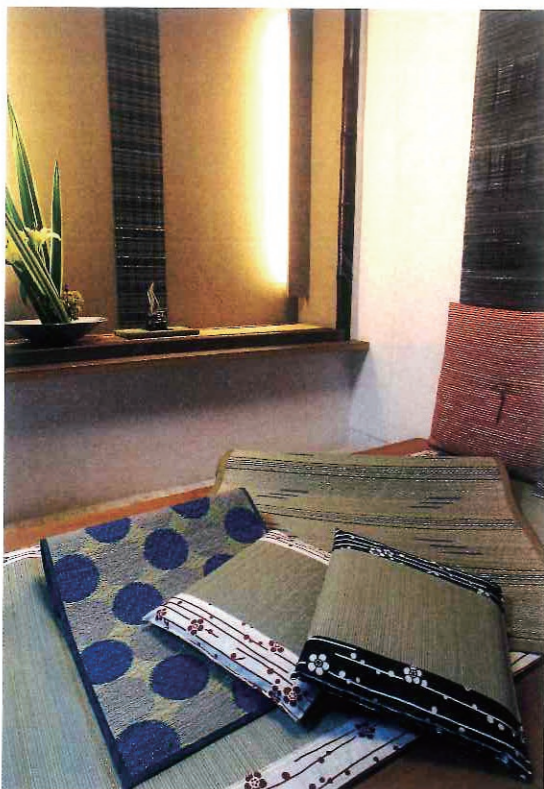


公開中のギャラリー。お洒落好きの外国人にはランチョンマットなどの小物が人気

## クマイ商店

[住] 東京都台東区上野桜木2-13-3  
[☎] 03-3823-0901  
[営業] 9:00~18:00  
(ショールームは10:00~18:00)  
[休] 日・祝(ショールームは日・祝・月)  
[備] 現在「いぐさに触れる ー暮らし生活展ー」を開催中(8月11日まで)。普段は畳屋さんで、畳家具のオーダーメイドも可能

今年の「ベスト商品はサマーマット。枕とセットで快眠を促す」



「この季節、フローリングだとベタベタするけれど、畳だとサラサラですよ」

創業300年以上、畳屋のクマイ商店。熊井千代子さんは暑さ対策に藺草を推奨する。「畳は草の匂い。草の上で寝ているのと一緒です。中国からの輸入品も増えていますが、やっぱり細くて粘りのある国産の藺草が日本人によく合うと思います」

最近では外国人、とりわけフランス人が商品を買っていくことが多いという。我々こそ畳の良さを再認識したい。

円山応挙 幽霊図一 (全生庵蔵)  
円朝が集めた幽霊画にはもつとおどろおどろしいものも…



想像力をかき立ててヒンヤリ気分を味わうのもおつなものだ。東京谷中の全生庵には、江戸時代の落語家、三遊亭円朝が集めた幽霊画が保存期間展示されている。

写真)。足がなく恨めしそうな表情は、日本人が抱くステレオタイプな幽霊像の源流になったといわれる。  
同庵で定期的にかかる落語会では、この季節ならではの怪談が演目に加わることも。トイレに行けなくならない程度に楽しみたい。

## 全生庵

[住] 東京都台東区谷中5-4-7  
[☎] 03-3821-4715  
[備] 幽霊画展は8月1日~31日。10:00~17:00。拝観料500円



三遊亭円朝の墓。毎年命日(8月11日)を中心に円朝まつりが開催される

# 幽霊

それでも暑いと言つたらば  
背筋を凍らせるしかない

ON and OFF